

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

Attorney Docket No. 016907/1102

Applicant: Nobuhisa YODA *et al.*  
Title: DOCUMENT PROCESS SYSTEM  
Appl. No.: Not yet assigned  
Filing Date: August 18, 2000  
Examiner: Not yet assigned  
Art Unit: Not yet assigned



**CLAIM FOR CONVENTION PRIORITY**

Assistant Commissioner for Patents  
Washington, D.C. 20231

Sir:

The benefit of the filing date of the following prior foreign application filed in the following foreign country is hereby requested, and the right of priority provided in 35 U.S.C. § 119 is hereby claimed.

In support of this claim, filed herewith is a certified copy of said original foreign application:

Japanese Patent Application No. 11-235489, filed August 23, 1999.

Respectfully submitted,

Johnny A. Kumar  
Reg. No. 34,649

8/18/2000  
\_\_\_\_\_  
Date

FOLEY & LARDNER  
3000 K Street, N.W., Suite 500  
P.O. Box 25696  
Washington, D. C. 20007-8696  
(202) 672-5300



日 本 国 特 許 庁  
PATENT OFFICE  
JAPANESE GOVERNMENT

JCS82 U.S. PRO  
09/641335  
08/18/00

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日  
Date of Application:

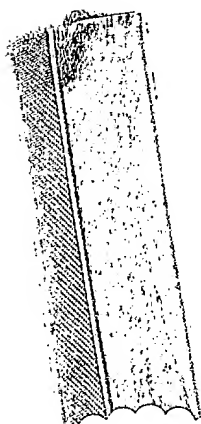
1999年 8月23日

出 願 番 号  
Application Number:

平成11年特許願第235489号

出 願 人  
Applicant (s):

東芝テック株式会社

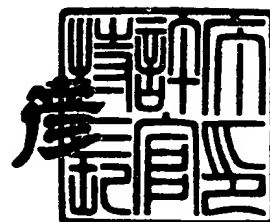


CERTIFIED COPY OF  
PRIORITY DOCUMENT

2000年 3月10日

特 許 庁 長 官  
Commissioner,  
Patent Office

近 藤 隆 彦



出証番号 出証特2000-3014560

【書類名】 特許願

【整理番号】 A009904898

【提出日】 平成11年 8月23日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 H04N 1/00

【発明の名称】 文書処理システム

【請求項の数】 7

【発明者】

    【住所又は居所】 神奈川県川崎市幸区柳町 7 0 番地 東芝テック株式会社  
柳町事業所内

    【氏名】 原口 竜也

【発明者】

    【住所又は居所】 神奈川県川崎市幸区柳町 7 0 番地 東芝テック株式会社  
柳町事業所内

    【氏名】 依田 信久

【発明者】

    【住所又は居所】 神奈川県川崎市幸区柳町 7 0 番地 東芝テック株式会社  
柳町事業所内

    【氏名】 城所 和明

【特許出願人】

    【識別番号】 000003562

    【氏名又は名称】 東芝テック株式会社

【代理人】

    【識別番号】 100058479

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 鈴江 武彦

    【電話番号】 03-3502-3181

【選任した代理人】

    【識別番号】 100084618

【弁理士】

【氏名又は名称】 村松 貞男

【選任した代理人】

【識別番号】 100068814

【弁理士】

【氏名又は名称】 坪井 淳

【選任した代理人】

【識別番号】 100092196

【弁理士】

【氏名又は名称】 橋本 良郎

【選任した代理人】

【識別番号】 100091351

【弁理士】

【氏名又は名称】 河野 哲

【選任した代理人】

【識別番号】 100088683

【弁理士】

【氏名又は名称】 中村 誠

【選任した代理人】

【識別番号】 100070437

【弁理士】

【氏名又は名称】 河井 将次

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 011567

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9709799

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 文書処理システム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 文書・写真・図面等を読み取って電子文書として複数の文書管理システムに登録・送信する文書処理システムにおいて、  
上記読み取られる電子文書を分割・結合して文書を再構成するための条件、文書の登録情報とを入力する入力手段と、  
この入力手段で入力された条件に基づいて、1回の操作で読み取られた電子文書を分割・結合する分割結合処理手段と、  
この分割結合処理手段で分割・結合処理された文書、及び上記入力手段で入力された文書の登録情報とを一時蓄積する蓄積手段と、  
この蓄積手段に蓄積された文書と文書の登録情報とに基づいて所定の文書管理システムに対して文書登録を実行する登録処理手段と、  
を具備したことを特徴とする文書処理システム

【請求項 2】 文書・写真・図面等を読み取って電子文書として複数の文書管理システムに登録・送信する文書処理システムにおいて、  
上記読み取られる電子文書を分割・結合して文書を再構成するための条件、文書の登録情報とを入力する入力手段と、  
この入力手段で入力された条件に基づいて、1回の操作で読み取られた電子文書を分割・結合する分割結合処理手段と、  
この分割結合処理手段で分割・結合処理された文書、及び上記入力手段で入力された文書の登録情報とを一時蓄積する蓄積手段と、  
この蓄積手段に蓄積された文書と文書の登録情報とに基づいて上記複数の文書管理システムに対して文書登録を実行する登録処理手段と、  
を具備したことを特徴とする文書処理システム

【請求項 3】 文書・写真・図面等を読み取って電子文書として複数の文書管理システムに登録・送信する文書処理システムにおいて、  
上記読み取られる電子文書を分割・結合して文書を再構成するための条件、文書の登録情報とを入力する入力手段と、

この入力手段で入力された条件に基づいて、複数回の操作で読み取られた電子文書を分割・結合する分割結合処理手段と、

この分割結合処理手段で分割・結合処理された文書、及び上記入力手段で入力された文書の登録情報とを一時蓄積する蓄積手段と、

この蓄積手段に蓄積された文書と文書の登録情報とに基づいて所定の文書管理システムに対して文書登録を実行する登録処理手段と、

を具備したことを特徴とする文書処理システム

【請求項 4】 文書・写真・図面等をスキャンし電子文書として文書管理システムに登録・送信する文書処理システムにおいて、

スキャン文書を分割・結合して文書を再構成する条件を設定するための分割／結合設定情報入出力部と、設定された条件を格納するための分割／結合設定情報 DB と、操作者が分割／結合設定情報入出力部によって設定した条件を分割／結合設定情報 DB に格納するための分割／結合設定処理部と、分割／結合設定情報 DB の内容を参照してスキャン文書の分割・結合処理を実行する分割／結合処理部を備え、

上記分割／結合設定情報入出力部を通じてあらかじめ設定され、上記分割／結合設定情報 DB に格納されている条件に基づいて文書を分割・結合することを特徴とする文書処理システム

【請求項 5】 文書・写真・図面等をスキャンし電子文書として文書管理システムに登録・送信する文書処理システムにおいて、

文書スキャン時にスキャン処理部によって収集されるスキャン関連情報を識別し、分割／結合処理に必要な情報を含むスキャンパラメータデータを生成するスキャンパラメータ認識部と、スキャンパラメータデータを格納するスキャンパラメータ DB と、スキャンパラメータ DB の内容を必要に応じて参照してスキャン文書の分割・結合処理を実行する分割／結合処理部を備え、

上記スキャンパラメータ DB に格納されているデータに基づいて、文書を分割・結合するための条件を判断して自動処理することを特徴とする文書処理システム

【請求項 6】 文書・写真・図面等をスキャンし電子文書として文書管理シ

システムに登録・送信する文書処理システムにおいて、

スキャン文書を分割して複数の文書管理システムに登録するための分割／結合設定情報入出力部と、設定された条件を格納するための分割／結合設定情報DBと、操作者が分割／結合設定情報入出力部によって設定した条件を分割／結合設定情報DBに格納するための分割／結合設定処理部と、分割／結合設定情報DBの内容を参照してスキャン文書の分割・結合処理を実行する分割／結合処理部を備え、

上記分割／結合設定情報入出力部においてあらかじめ設定され、上記分割／結合設定情報DBに格納されている条件に基づいて、上記複数の文書管理システムに登録・送信するために文書を分割・結合することを特徴とする文書処理システム

【請求項7】 文書・写真・図面等をスキャンし電子文書として文書管理システムに登録・送信する文書処理システムにおいて、

スキャン文書の分割・結合処理を実行する分割／結合処理部と、分割・結合処理を実行するにあたって必要な情報を問い合わせる分割／結合問い合わせ処理部と、必要な情報を入力するための分割／結合設定情報入出力部を備え、

上記分割／結合問い合わせ処理部によって上記分割／結合設定情報入出力部から入力された文書を分割・結合に必要な情報に基づいて分割・結合処理を実行することを特徴とする文書処理システム

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

この発明は、文書・写真・図面等をスキャンし電子文書として文書管理システムに登録・送信する文書処理システムに関する。

【0002】

【従来の技術】

従来の文書処理装置は、1回の操作によってスキャンされた文書を単一文書として単一の文書管理システムに登録・送信するものが通常であった。

【0003】



1回の操作によってスキャンされた文書を複数の文書として文書管理システムに登録・送信する事例としては、特殊目的に利用される定型文書処理装置のように決められた方法でスキャン文書を分割するものがあった。

【 0 0 0 4 】

また、1回の操作によってスキャンされた文書を単一文書として複数の文書管理システムに登録・送信する事例としては、文書のコピーを生成し、複数の文書管理システムに同一のデータを登録・送信するものがあった。

【 0 0 0 5 】

また、多数枚・多種の文書をスキャンして電子文書として複数の文書管理システムに登録・送信する場合、例えば複数の文書管理システムに登録・送信するための電子文書処理ルールを定めておき、このルールに従って文書処理されるように文書をスキャンすることによって、スキャン処理回数を少なくすることができ、より効率的な文書処理が可能となっている。

【 0 0 0 6 】

しかしながら、上記文書処理方法では、スキャン処理回数を少なくするための電子文書処理ルールを設定する手法として、1回の操作によってスキャンされた文書を複数文書に分割するための手法はなく、そのため文書スキャン時に操作者が文書を分割し、それぞれに対してスキャン操作を繰り返し実行しなければならなかった。

【 0 0 0 7 】

また、1回の操作によってスキャンされた文書を分割し、それぞれ複数の文書管理システムに登録・送信することはできなかった。さらに、複数の操作によってスキャンされた文書を結合し、1文書として文書管理システムに登録・送信することはできなかった。

【 0 0 0 8 】

特殊目的に利用される定型文書処理装置の事例では、1回の操作でスキャンされた文書を複数の文書として登録することが可能だが、スキャン文書を分割する機構が文書を登録する段階の処理として組み込まれており、処理ルールを参照して電子文書进行处理する立場とは目的が異なる。そのため、処理ルールを操作者が

変更することが困難、処理ルール自由度が低い、非定型文書の処理に活用できない、といった問題点があった。

#### 【0009】

文書のコピーを生成し、複数の文書管理システムに同一のデータを登録・送信する事例では、1回の操作でスキャンされた文書は分割されない。そのため、複数の文書管理システムに異なるデータを登録・送信する場合には、やはり文書スキャン時に操作者が文書を分割し、それぞれに対してスキャン操作を繰り返し実行しなければならない。

#### 【0010】

##### 【発明が解決しようとする課題】

上記したように、文書スキャン時に操作者が文書を分割し、それぞれに対してスキャン操作を繰り返し実行しなければならなかったり、1回の操作によってスキャンされた文書を分割し、それぞれ複数の文書管理システムに登録・送信することができなかったり、複数の操作によってスキャンされた文書を結合し、1文書として文書管理システムに登録・送信することはできなかったり、処理ルールを操作者が変更することが困難、処理ルール自由度が低い、非定型文書の処理に活用できないなどの文書処理に柔軟性がなく、複数の文書管理システムに異なるデータを登録・送信する場合、文書スキャン時に操作者が文書を分割し、それぞれに対してスキャン操作を繰り返し実行しなければならないという非効率的なスキャン操作しかできないという問題があった。

#### 【0011】

そこで、この発明は、文書処理の柔軟性の向上と効率的なスキャン操作をすることのできる文書処理システムを提供することを目的とする。

#### 【0012】

##### 【課題を解決するための手段】

この発明の文書処理システムは、文書・写真・図面等を読み取って電子文書として複数の文書管理システムに登録・送信する文書処理システムにおいて、上記読み取られる電子文書を分割・結合して文書を再構成するための条件、文書の登録情報とを入力する入力手段と、この入力手段で入力された条件に基づいて、1

回の操作で読み取られた電子文書を分割・結合する分割結合処理手段と、この分割結合処理手段で分割・結合処理された文書、及び上記入力手段で入力された文書の登録情報とを一時蓄積する蓄積手段と、この蓄積手段に蓄積された文書と文書の登録情報とに基づいて所定の文書管理システムに対して文書登録を実行する登録処理手段とから構成されている。

## 【0013】

この発明の文書処理システムは、文書・写真・図面等を読み取って電子文書として複数の文書管理システムに登録・送信する文書処理システムにおいて、上記読み取られる電子文書を分割・結合して文書を再構成するための条件、文書の登録情報とを入力する入力手段と、この入力手段で入力された条件に基づいて、1回の操作で読み取られた電子文書を分割・結合する分割結合処理手段と、この分割結合処理手段で分割・結合処理された文書、及び上記入力手段で入力された文書の登録情報とを一時蓄積する蓄積手段と、この蓄積手段に蓄積された文書と文書の登録情報とに基づいて上記複数の文書管理システムに対して文書登録を実行する登録処理手段とから構成されている。

## 【0014】

この発明の文書処理システムは、文書・写真・図面等を読み取って電子文書として複数の文書管理システムに登録・送信する文書処理システムにおいて、上記読み取られる電子文書を分割・結合して文書を再構成するための条件、文書の登録情報とを入力する入力手段と、この入力手段で入力された条件に基づいて、複数回の操作で読み取られた電子文書を分割・結合する分割結合処理手段と、この分割結合処理手段で分割・結合処理された文書、及び上記入力手段で入力された文書の登録情報とを一時蓄積する蓄積手段と、この蓄積手段に蓄積された文書と文書の登録情報とに基づいて所定の文書管理システムに対して文書登録を実行する登録処理手段とから構成されている。

## 【0015】

この発明の文書処理システムは、文書・写真・図面等をスキャンし電子文書として文書管理システムに登録・送信する文書処理システムにおいて、スキャン文書を分割・結合して文書を再構成する条件を設定するための分割／結合設定情報

入出力部と、設定された条件を格納するための分割／結合設定情報DBと、操作者が分割／結合設定情報入出力部によって設定した条件を分割／結合設定情報DBに格納するための分割／結合設定処理部と、分割／結合設定情報DBの内容を参照してスキャン文書の分割・結合処理を実行する分割／結合処理部を備え、上記分割／結合設定情報入出力部を通じてあらかじめ設定され、上記分割／結合設定情報DBに格納されている条件に基づいて文書を分割・結合することを特徴とする。

## 【0016】

この発明の文書処理システムは、文書・写真・図面等をスキャンし電子文書として文書管理システムに登録・送信する文書処理システムにおいて、文書スキャン時にスキャン処理部によって収集されるスキャン関連情報を識別し、分割／結合処理に必要な情報を含むスキャンパラメータデータを生成するスキャンパラメータ認識部と、スキャンパラメータデータを格納するスキャンパラメータDBと、スキャンパラメータDBの内容を必要に応じて参照してスキャン文書の分割・結合処理を実行する分割／結合処理部を備え、上記スキャンパラメータDBに格納されているデータに基づいて、文書を分割・結合するための条件を判断して自動処理することを特徴とする。

## 【0017】

この発明の文書処理システムは、文書・写真・図面等をスキャンし電子文書として文書管理システムに登録・送信する文書処理システムにおいて、スキャン文書を分割して複数の文書管理システムに登録するための分割／結合設定情報入出力部と、設定された条件を格納するための分割／結合設定情報DBと、操作者が分割／結合設定情報入出力部によって設定した条件を分割／結合設定情報DBに格納するための分割／結合設定処理部と、分割／結合設定情報DBの内容を参照してスキャン文書の分割・結合処理を実行する分割／結合処理部を備え、上記分割／結合設定情報入出力部においてあらかじめ設定され、上記分割／結合設定情報DBに格納されている条件に基づいて、上記複数の文書管理システムに登録・送信するために文書を分割・結合することを特徴とする。

## 【0018】

この発明の文書処理システムは、文書・写真・図面等をスキャンし電子文書として文書管理システムに登録・送信する文書処理システムにおいて、スキャン文書の分割・結合処理を実行する分割／結合処理部と、分割・結合処理を実行するにあたって必要な情報を問い合わせる分割／結合問い合わせ処理部と、必要な情報を入力するための分割／結合設定情報入出力部を備え、上記分割／結合問い合わせ処理部によって上記分割／結合設定情報入出力部から入力された文書を分割・結合に必要な情報に基づいて分割・結合処理を実行することを特徴とする。

【0019】

【発明の実施の形態】

以下、この発明の一実施の形態について図面を参照して説明する。

【0020】

図1は、この発明である文書処理システムの一実施例の構成を示すブロック図である。文書処理システム1は、通信回線を介して1つ以上の文書管理システム2，…と接続された状態で構成される。

【0021】

すなわち、文書処理システム1は、文書分割／結合処理部3、文書登録処理部4、スキャン部5、分割／結合設定情報入出力部6、分割／結合設定情報DB7、分割／結合用バッファ8、及びスキャンパラメータDB9とから構成される。

【0022】

文書分割／結合処理部3は、この発明の文書分割・結合機能を実現するもので、同じく文書登録処理部4は、この発明の文書登録・文書分割登録機能を実現するための処理モジュールである。これにより後述する図2に示す各処理が実現される。

【0023】

文書を取り込むインターフェースであるスキャン部5と、文書の分割・結合設定を入力するインターフェースである分割／結合設定情報入出力部6がある。スキャン部5については従来と同じであるため特に説明しない。分割／結合設定情報入出力部6における表示例については後述する。なお、分割／結合設定情報入出力部6の表示部分については、その実装形式を限定しない。スキャン部5を含

むスキャン装置に実装してもよいし、Webサーバのような仮想的な表示処理が文書処理システム 1 内に存在して、実際に表示されるのはリモートのブラウザであってもよい。

#### 【0024】

文書を分割／結合するためのルールを格納するための分割／結合設定情報 DB 7 と、文書を分割／結合し再構成された文書群を文書管理システム 2 に登録する過程で必要となる記憶領域である分割／結合用バッファ 8 と、スキャン部 5 での文書のスキャン状態に関する情報を格納するスキャンパラメータ DB 9 とがある。分割／結合設定情報 DB 7 と分割／結合用バッファ 8 とスキャンパラメータ DB 9 のデータ構造については後述する。

#### 【0025】

図 2 は、この発明である文書処理システム 1 の一実施例の処理概要を示す図である。本システムでは、まずスキャン処理部 10 で文書が取り込まれて電子的なスキャンデータ 11 となる。スキャン処理部 10 に続いてスキャンパラメータ認識部 12 が実行され、文書の分割／結合処理のために必要な情報を含む、スキャン状態に関する情報がスキャンパラメータ DB 9 に格納される。スキャン処理部 10 とスキャンパラメータ認識部 12 が図 1 のスキャン部 5 に相当する。

#### 【0026】

次に、分割／結合処理部 13 でスキャンデータに対する分割／結合処理が実行される。処理実行時には、分割／結合設定情報 DB 7 やスキャンパラメータ DB 9 に格納されている情報が参照され、設定された情報に基づいて処理が実行される。なお、分割／結合設定情報 DB 7 に格納される情報は、分割／結合設定情報入出力部（以下、入出力部と記述する）6 を通じて操作者が入力したデータを基に分割／結合設定処理部 14 によって登録された情報である。また、分割／結合設定処理部 14 での処理実行時に操作者の情報入力が必要な場合、分割／結合問い合わせ処理部 15 によって入出力部 6 を経て情報の入力を促す内容が表示される。ここで入力された情報も文書処理に反映される。分割／結合処理部 13 と分割／結合設定処理部 14 と分割／結合問い合わせ処理部 15 が図 1 の文書分割／結合処理部 3 に相当する。

## 【 0 0 2 7 】

分割／結合処理部 1 3 で処理された文書データは、分割／結合用バッファ 8 に一時格納され、文書登録処理部 4 で各文書管理システム 2 に登録される。

## 【 0 0 2 8 】

図 3 は、スキャンパラメータ DB 9 に記憶されるデータ構造の例である。スキャンパラメータ DB 9 には、文書をスキャンした際にスキャン処理部 1 0 の自動判別機能により選られる情報や、文書をスキャンした際に操作者が指定した情報が記憶される。

## 【 0 0 2 9 】

図 4 は、分割／結合設定情報 DB 7 に記憶されるデータ構造の例である。分割／結合設定情報 DB 7 には、文書の処理方法、すなわち分割する、結合する、分割／結合する、処理しないのいずれかを指定する項目である文書処理 1 6、文書処理で指定された処理を行うための処理単位を指定する項目である文書処理単位 1 7、文書処理単位で文書を分割・結合した結果として生じる可能性のある余り文書に対する処理内容を指定する項目である文書余り処理 1 8、文書の登録方法、すなわち分割登録する、分割登録しないのいずれかを指定し、分割登録しない場合は登録先の文書管理システムを指定する項目である登録処理 1 9、及び登録処理において分割登録すると指定した場合に、分割登録する各登録先とそれぞれの登録条件を指定する項目である登録先 2 0 とが記憶されている。

## 【 0 0 3 0 】

図 5 は、分割／結合用バッファ 8 に記憶されるデータ構造の例である。分割／結合用バッファ 8 には、文書データそのものを管理するデータテーブル 2 1、文書データの登録情報などが記憶される登録情報テーブル 2 2 とがある。

## 【 0 0 3 1 】

図 5 の ( a ) に示す登録情報テーブル 2 2 には、スキャン操作時のスキャン実行単位の識別子であるスキャン ID 2 3、分割／結合処理実行後の文書単位の識別子である文書 ID 2 4、各文書の現在のバッファでの状態を表す状態 2 5、及び各文書の登録先を表す登録先 2 6 とが記憶されている。

## 【 0 0 3 2 】

また、図5の(b)に示すデータテーブル21には、分割/結合処理実行後の文書単位の識別子である文書ID27、各文書の実データであるデータ28とが記憶されている。

【0033】

次に、このような構成において、分割/結合処理部13における処理動作を図6のフローチャートを参照して説明する。

【0034】

まず、ステップ29において、分割/結合設定情報DB7の文書処理16を参照して、文書分割/結合処理をする必要があればステップ30に、そうでなければステップ36に進む。

【0035】

ステップ30で、分割/結合設定情報DB7から分割/結合設定情報を参照する。

【0036】

ステップ31で、分割/結合設定情報DB7の文書処理単位17を参照してスキャンパラメータを参照する必要がある場合はステップ32に、そうでなければステップ33に進む。

【0037】

ステップ32で、スキャンパラメータDB9からスキャンパラメータを参照する。

【0038】

ステップ33で、分割/結合設定情報DB7の文書余り処理18を参照して、問い合わせ処理をする必要がある場合はステップ34に、そうでなければステップ5に進む。

【0039】

ステップ34で、問い合わせ処理を行い、入出力部6を通じて必要な情報を取得する。

【0040】

ステップ35で、文書の分割・結合を判断して実行する。



## 【 0 0 4 1 】

ステップ 3 6 で、 分割・結合された文書に関する情報を分割／結合用バッファ 8 に一時蓄積するとともに、文書の登録に関する情報も分割／結合用バッファ 8 に格納する。

## 【 0 0 4 2 】

次に、図 3、図 4、図 5 を例として、文書処理の具体例を説明する。

## 【 0 0 4 3 】

まず、図 4 の例では、「4 ページごとに 1 文書となるよう分割して登録する」という処理ルールが示されている。ここで、全 1 0 ページ（用紙サイズ A 4 が 4 ページ、B 5 が 4 ページ、B 4 が 2 ページの順）の文書スキャン（図 5 のスキャン I D = 2 に相当）が実行されたとする。このスキャンデータを、図 4 の処理ルールにしたがって分割すると、4 ページで構成される文書が 2 つ、2 ページで構成される文書が 1 つ生成される。さらに、図 4 の分割登録ルールにしたがって、4 ページで構成される文書的一方（図 5 の文書 I D = 3）は文書管理システム A へ、他方（図 5 の文書 I D = 4）は文書管理システム B へ、2 ページで構成される文書（図 5 の文書 I D = 5）は文書管理システム C へ登録される。

## 【 0 0 4 4 】

ここで、図 4 の分割／結合設定情報は、例えば、図 9 に示す表示例のようなユーザインターフェースによって操作者によりあらかじめ入力される。

## 【 0 0 4 5 】

次に、図 7 に示す分割／結合設定情報例の場合について説明する。

## 【 0 0 4 6 】

図 7 の例では、「1 枚分ごとに 1 文書となるように分割して登録する」という処理ルールが示されている。ここで、全 2 枚の文書スキャン（図 5 のスキャン I D = 1 に相当）が実行され、図 3 の例のようなスキャンパラメータが記録されたとする。このとき、図 3 のスキャンタイプは「A D F 両面」となっているので、全 2 枚の文書は全 4 ページのスキャンデータとなっていることになる。このスキャンデータを、図 7 の処理ルールにしたがって分割すると、2 ページで構成される文書が 2 つ（図 5 の文書 I D = 1、2）生成される。これらは図 7 の登録ル

ルにしたがって、両方とも文書管理システム A へ登録される。

【0047】

ここで、図 3 のスキャンパラメータのうち、「スキャンタイプ」は、図 7 で指定されている「1 枚分」のページ数を自動的に決定するための判断要素として利用される。

【0048】

次に、図 8 に示す分割／結合設定情報例の場合について説明する。

【0049】

図 8 の例では、「4 ページごとに 1 文書となるように結合して登録する」という処理ルールが示されている。ここで、全 2 ページの文書スキャン（図 5 のスキャン ID = 3 に相当）が実行されたとする。このスキャンデータを、図 8 の処理ルールにしたがって分割すると、まず 2 ページで構成される文書が生成される。しかし、4 ページに満たないため、この文書は「余り文書」として「結合中」の状態バッファに格納される（図 5 の文書 ID = 6）。このとき、図 8 の「文書余り処理」には操作者への問い合わせを行うように指定されているので、例えば図 10 に示す表示例のようなユーザインターフェースが表示される。

【0050】

以上説明したように上記発明の実施の形態によれば、1 回の操作だけで複数の文書を登録することができる（操作の簡便性）。

【0051】

また、1 回の操作だけで複数の文書管理システムに異なる文書を登録することができる（操作の簡便性）。

【0052】

また、複数の操作による文書を結合して 1 文書として登録することができる（操作の簡便性、処理の柔軟性）。

【0053】

また、文書の処理に関わる規則をあらかじめ入力しておくことができる（処理の柔軟性、多様性）。

【0054】

また、文書の処理内容を自動的に判断することができる（処理の柔軟性、多様性）。

【 0 0 5 5 】

また、分割された文書の登録先を別々に指定することができる（操作の簡便性、処理の柔軟性）。

【 0 0 5 6 】

また、文書の処理に必要な情報をその場で操作者から取得することができる（処理の柔軟性、多様性）。

【 0 0 5 7 】

【発明の効果】

以上詳述したようにこの発明によれば、文書処理の柔軟性の向上と効率的なスキャン操作をすることのできる文書処理システムを提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

この発明である文書処理システムの一実施例の構成を示すブロック図。

【図 2】

この発明である文書処理システムの一実施例の処理概要を示す図。

【図 3】

スキャンパラメータ DB に記憶されるデータ構造の例を示す図。

【図 4】

分割／結合設定情報 DB に記憶されるデータ構造の例を示す図。

【図 5】

分割／結合用バッファに記憶されるデータ構造の例を示す図。

【図 6】

分割／結合処理部における処理動作を説明するためのフローチャート。

【図 7】

分割／結合設定情報例を示す図。

【図 8】

分割／結合設定情報例を示す図。

【図 9】

分割／結合設定情報の表示例を示す図。

【図 1 0】

分割／結合問い合わせの表示例を示す図。

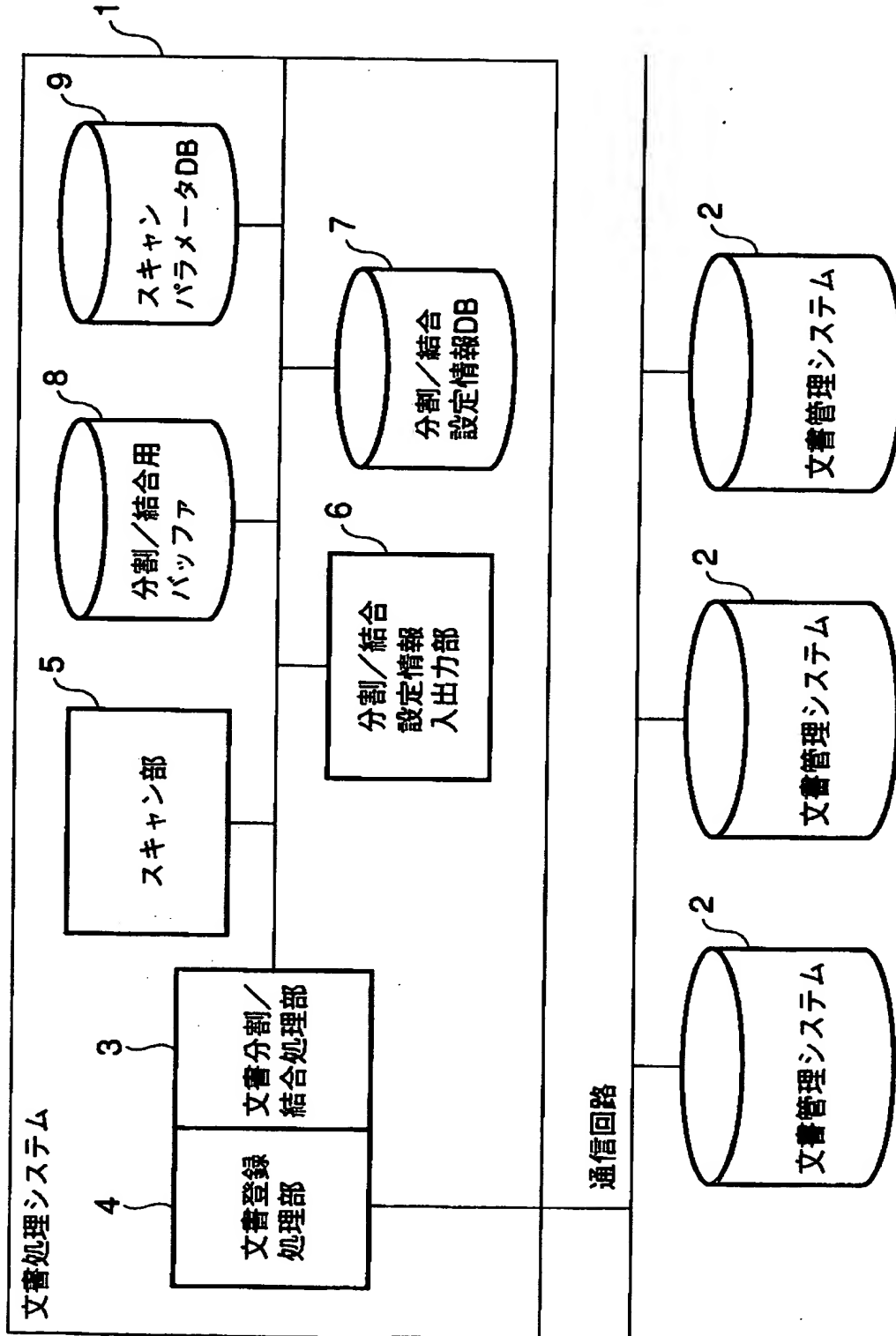
【符号の説明】

- 1 …文書処理システム
- 2 …文書管理システム
- 3 …文書分割／結合処理部
- 4 …文書登録処理部（登録処理手段）
- 5 …スキャン部
- 6 …分割／結合設定情報入出力部（入力手段）
- 7 …分割／結合設定情報 D B
- 8 …分割／結合用バッファ（蓄積手段）
- 9 …スキャンパラメータ D B
- 1 0 …スキャン処理部
- 1 1 …スキャンデータ
- 1 2 …スキャンパラメータ認識部
- 1 3 …分割／結合処理部（分割結合処理手段）
- 1 4 …分割／結合設定処理部
- 1 5 …分割／結合問い合わせ処理部

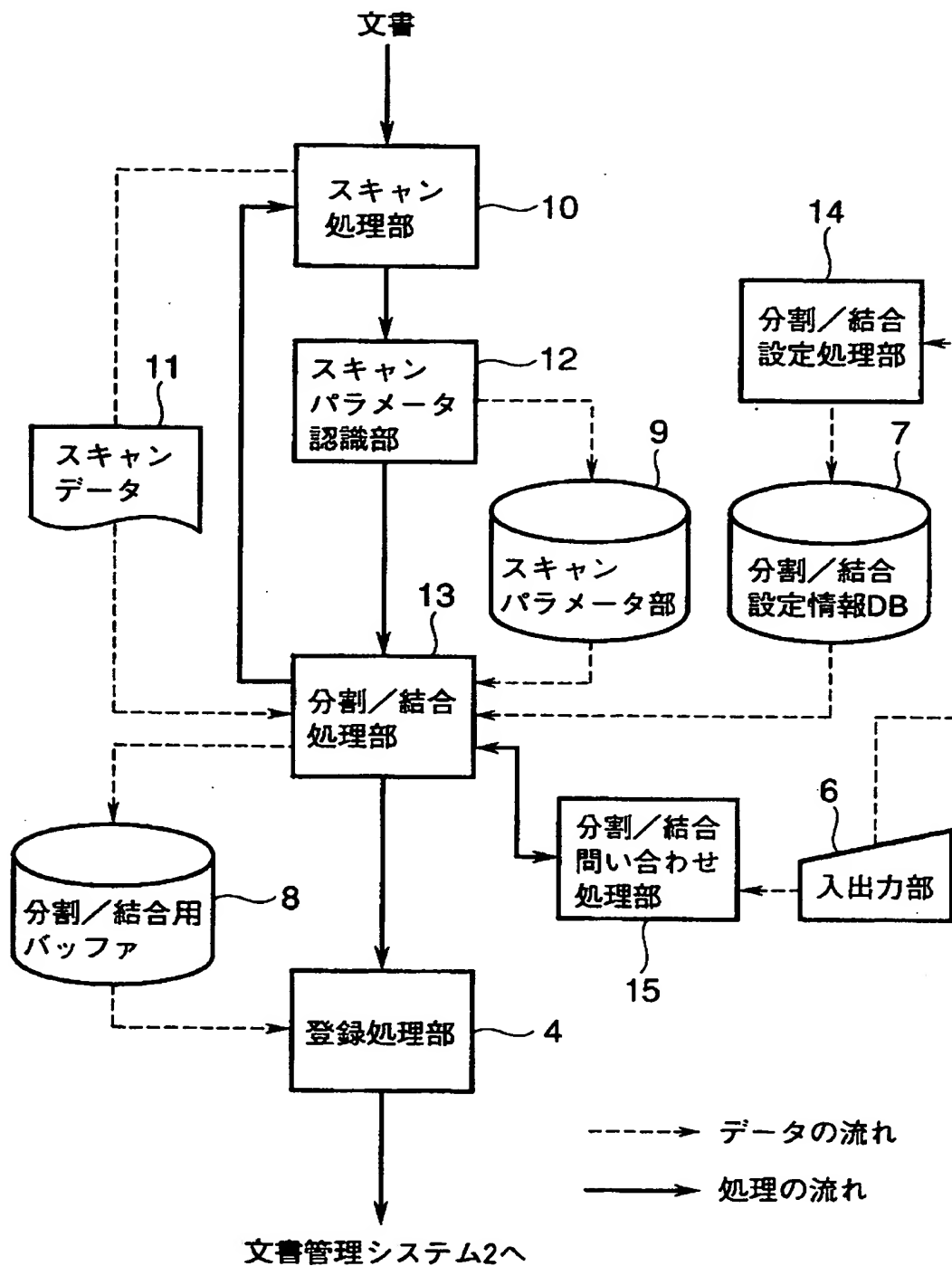
【書類名】

図面

【図 1】



【図 2】



【図 3】

項目名	値
解像度	600dpi
スキャンタイプ	ADF両面
用紙サイズ	A4
スキャンモード	写真
原稿向き	ランドスケープ

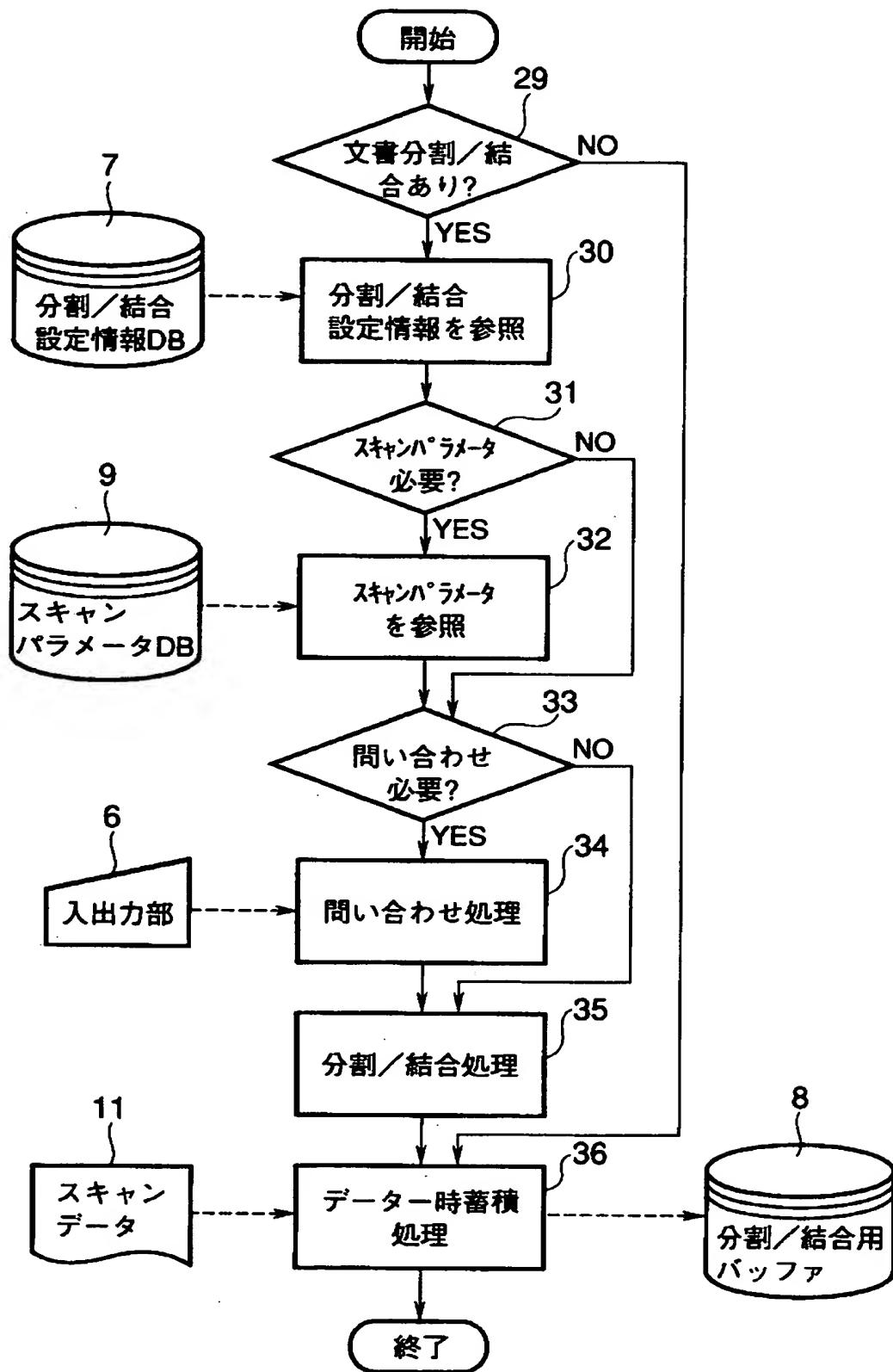
【図 4】

項目名	値1	値2
16 文書処理	分割する	
17 文書処理単位	4ページ1文書	
18 文書余り処理	1文書として登録	
19 登録処理	分割登録する	
20 登録先1：条件	文書管理システムA	用紙サイズA4
登録先2：条件	文書管理システムB	用紙サイズB4
登録先3：条件	文書管理システムC	用紙サイズA4B5以外

【図 5】

		23	24	25	26
(a)	22	スキャンID	文書ID	状態	登録先
		1	1	登録待ち	文書管理システムA
		1	2	登録待ち	文書管理システムA
		2	3	登録待ち	文書管理システムA
		2	4	登録待ち	文書管理システムB
		2	5	登録待ち	文書管理システムC
		3	6	結合中	文書管理システムA
		⋮	⋮	⋮	⋮
(b)	21	スキャンID	データ		
		1	(文書データ)		
		2	⋮		
		3	⋮		
		4	⋮		
		5	⋮		
		⋮	⋮		
		27	28		

【図 6】





【図 7】

項目名	値1	値2
文書処理	分割する	
文書処理単位	1枚1文書	
文書余り処理	削除する	
登録処理	分割登録しない	文書管理システムA
登録先1：条件		
登録先2：条件		
登録先3：条件		

【図 8】

項目名	値1	値2
文書処理	分割する	
文書処理単位	4ページ1文書	
文書余り処理	問い合わせ	
登録処理	分割登録しない	文書管理システムA
登録先1：条件		
登録先2：条件		
登録先3：条件		

【図9】

(a)

分割／結合方法指定

☐ 全ページを1文章として登録  
☐ 1ページを1文章として分割登録  
☐ 1枚を1文章として分割／結合登録  
☒  ページを1文章として分割／結合登録  
☐  枚を1文章として分割／結合登録

余りページ： ☒ 1文章として登録する  
☐ 削除する  
☐ ユーザにその場で問い合わせる

(b)

登録先指定

☐ 単一システムへの登録  
 登録先  ▼

☒ 複数システムへの分割登録  
 条件1  ▼ が  ▼  
 登録先  ▼  
 条件2  ▼ が  ▼  
 登録先  ▼

【図 1 0】

—— 余り処理指定 ——

スキャン文章を4ページずつ1文章に分割しています。  
スキャン文章は全部で10ページあり、余りページが  
2ページ発生しますが、どうしますか？

☐ 余りページは削除する

☐ 余りページを1文章として登録する

☐ 次のスキャン文書と結合する

OK      キャンセル

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 文書処理の柔軟性の向上と効率的なスキャン操作をする。

【解決手段】 分割／結合処理部 1 3 は、分割／結合設定情報 D B 7 の文書処理を参照し、文書分割／結合処理をする必要があれば分割／結合設定情報 D B 7 から分割／結合設定情報を参照し、スキャンパラメータを参照する必要がある場合はスキャンパラメータ D B 9 からスキャンパラメータを参照し、分割／結合設定情報 D B 7 の文書余り処理を参照して問い合わせ処理をする必要がある場合は分割／結合問い合わせ処理部 1 5 を介して入出力部 6 から必要な情報を取得し、文書の分割・結合を判断して実行し、分割・結合された文書に関する情報を分割／結合用バッファ 8 に一時蓄積するとともに、文書の登録に関する情報も分割／結合用バッファ 8 に格納し、登録処理部 4 により文書管理システム 2 へ登録される。

【選択図】 図 2

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000003562]

1. 変更年月日 1999年 1月14日

[変更理由] 名称変更

住 所 東京都千代田区神田錦町1丁目1番地

氏 名 東芝テック株式会社